

1. ベクトルとは何か

- スカラー (scalar): 大きさだけで決まる量 (例: 長さ, 質量, 温度, エネルギー) .
- ベクトル (vector): 「大きさ」と「向き」を持つ量 (例: 速度, 力, 変位) .

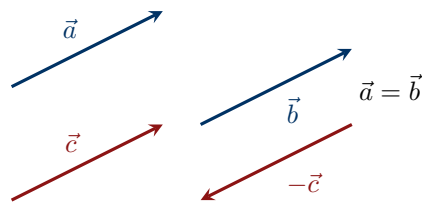
ベクトルは図形的には「有向線分」として表されるが, 本質的には「点 A を点 B に移す平行移動」を表す量である.

用語と定義

- (1) 表記: 始点 A, 終点 B のベクトルを \overrightarrow{AB} と書く. 1 文字で \vec{a} とも書く.
- (2) 大きさ: 線分の長さ. $|\vec{a}|$ または $|\overrightarrow{AB}|$ と書く.
- (3) ベクトルの相等: 「向き」と「大きさ」が同じならば, 始点がどこにあっても同じベクトルとみなす.

$$\vec{a} = \vec{b}$$

- (4) 逆ベクトル: 大きさが同じで向きが反対のベクトル. \vec{a} に対し $-\vec{a}$ と書く.
- (5) ゼロベクトル: 大きさが 0 のベクトル $\vec{0}$. 向きは考えない. 始点と終点が一致する (移動しない) .



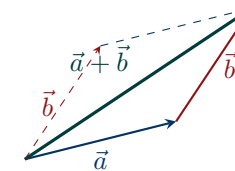
2. ベクトルの和と差

ベクトルの演算は「物理的な継ぎ足し」として定義される.

和の定義 (三角形の法則・平行四辺形の法則)

\vec{a} 進んでから \vec{b} 進むことは, $\vec{a} + \vec{b}$ 進むことに等しい.

$$\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC}$$



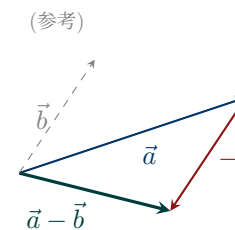
差の定義 (逆ベクトルの和)

数の引き算 $5 - 3 = 5 + (-3)$ と同様に, ベクトルの差は「逆ベクトルを足す」こととして定義する.

$$\vec{a} - \vec{b} = \vec{a} + (-\vec{b})$$

作図の手順:

- (1) \vec{a} を描く.
- (2) \vec{a} の終点に, \vec{b} と逆向きのベクトル $-\vec{b}$ を継ぎ足す.
- (3) 始点から最後の終点を結ぶ.



重要: 位置ベクトルの視点

始点を O にそろえて考えると, 上図の結果は

$$\overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OB} = \overrightarrow{BA} \quad (\text{引く方の終点} \rightarrow \text{引かれる方の終点})$$

となっている. 実戦ではこの「視点」で計算することが多い.

3. 実数倍と平行条件

ベクトル \vec{a} を k 倍する (k は実数) .

- 大きさは $|k|$ 倍になる. ($|k\vec{a}| = |k||\vec{a}|$)
- $k > 0$ なら向きは同じ, $k < 0$ なら向きは反対.

平行条件

$\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}$ のとき,

$$\vec{a} // \vec{b} \iff \vec{b} = k\vec{a} \quad (k \text{ は実数})$$

単位ベクトル: 大きさが 1 のベクトルを単位ベクトルという. \vec{a} と同じ向きの単位ベクトル \vec{e} は, \vec{a} を自身の大きさに割ることで得られる.

$$\vec{e} = \frac{\vec{a}}{|\vec{a}|}$$

例題 1 (計算規則)

通常の文字式と同様に計算できる. 次の等式を満たす \vec{x} を求めよ.

$$2(\vec{x} - 3\vec{a}) = \vec{x} + 4\vec{b}$$

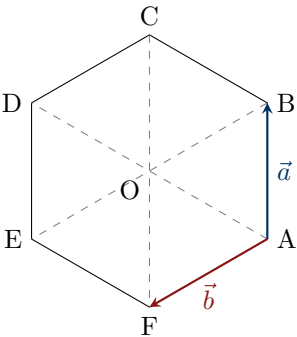
4. ベクトルの分解

平面上の任意のベクトルは, 平行でない 2 つのベクトル (基底) を用いてただ 1 通りに表すことができる. 「道順」を辿るイメージで分解していく.

例題 2 (正六角形と分解)

正六角形 ABCDEF において, $\overrightarrow{AB} = \vec{a}, \overrightarrow{AF} = \vec{b}$ とする. 次のベクトルを \vec{a}, \vec{b} を用いて表せ.

- (1) \overrightarrow{AO}
- (2) \overrightarrow{AC}
- (3) \overrightarrow{BD}

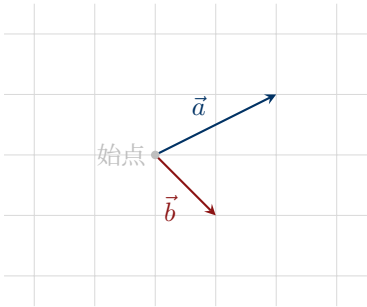


確認テスト (A: 基本)

練習 A1 (作図)

右の図を利用して、以下のベクトルを作図せよ。

- (1) $\vec{a} + \vec{b}$
- (2) $\vec{a} - \vec{b}$ (\vec{a} に $-\vec{b}$ を足す)



練習 A2 (計算)

次の等式を満たす \vec{x} を \vec{a}, \vec{b} で表せ。

$3(\vec{x} - 2\vec{a}) + 2(\vec{a} - 2\vec{x}) = 6\vec{b}$

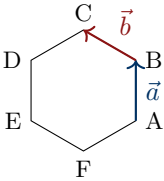
Memo / Answer

確認テスト (B: 標準)

練習 B1 (正六角形)

正六角形 ABCDEF において、 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}, \overrightarrow{BC} = \vec{b}$ とする。次のベクトルを \vec{a}, \vec{b} を用いて表せ。

- (1) \overrightarrow{AF}
- (2) \overrightarrow{AD}
- (3) \overrightarrow{CE}

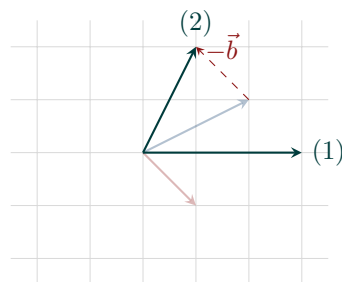


Memo / Answer

解答 (A: 基本)

練習 A1 (作図)

- (1) 平行四辺形の対角線.
(2) \vec{a} の終点から \vec{b} と逆向きに進む.



Memo / Answer

A2 解答:

$$\begin{aligned} 3\vec{x} - 6\vec{a} + 2\vec{a} - 4\vec{x} &= 6\vec{b} \\ -\vec{x} - 4\vec{a} &= 6\vec{b} \\ -\vec{x} &= 4\vec{a} + 6\vec{b} \\ \therefore \vec{x} &= -4\vec{a} - 6\vec{b} \end{aligned}$$

解答 (B: 標準)

Memo / Answer

B1 解答:

与えられた基底は $\overrightarrow{AB} = \vec{a}, \overrightarrow{BC} = \vec{b}$.

(1) \overrightarrow{AF}

\overrightarrow{AF} は \overrightarrow{CD} と平行で逆向きだが, $\overrightarrow{CD} = \overrightarrow{BA} - \overrightarrow{BC}$? 複雑になる.

正六角形の中心を O とすると, $\triangle ABO, \triangle BCO$ は正三角形.

$$\overrightarrow{AO} = \overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BO} = \vec{a} + \vec{b}.$$

また $\overrightarrow{AF} = \overrightarrow{BO} - \overrightarrow{BA}$ の関係から...

最短ルート: $\overrightarrow{CD} = \vec{b} - \vec{a}$ (前回参照). \overrightarrow{AF} は \overrightarrow{CD} の逆ベクトルである.

$$\overrightarrow{AF} = -\overrightarrow{CD} = -(\vec{b} - \vec{a}) = \vec{a} - \vec{b}$$

(2) \overrightarrow{AD}

AD は BC と平行で長さが 2 倍である.

$$\overrightarrow{AD} = 2\overrightarrow{BC} = 2\vec{b}$$

(3) \overrightarrow{CE}

$\overrightarrow{CE} = \overrightarrow{AE} - \overrightarrow{AC}$. まず $\overrightarrow{AC} = \vec{a} + \vec{b}$.

$\overrightarrow{AE} = \overrightarrow{AD} + \overrightarrow{DE}$. $\overrightarrow{DE} = \overrightarrow{BA} = -\vec{a}$. よって $\overrightarrow{AE} = 2\vec{b} - \vec{a}$.

したがって,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{CE} &= (2\vec{b} - \vec{a}) - (\vec{a} + \vec{b}) \\ &= \vec{b} - 2\vec{a} \end{aligned}$$

別解 (図形的直観): CE は BF と平行かつ等しい. $\overrightarrow{BF} = \overrightarrow{AF} - \overrightarrow{AB} = (\vec{a} - \vec{b}) - \vec{a} = -\vec{b} \dots?$

図を確認すると, BF は y 軸方向逆. $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$ (30° 方向), $\overrightarrow{BC} = \vec{b}$ (90° 方向). この組み合わせは少し難しい. 式変形で確実に解くのが良い.